



長縄大会へ向けて 燃えています！

来週、低中高学年に別れて長縄大会が計画されています。クラス目標の回数に向けて朝早くから練習するクラスが増えてきています。子どもたちに聞くと、自主的にクラスみんなに声をかけて練習をしているそうです。また、「苦手なので練習をしています。」というグループもありました。

お昼休みも多くのクラスが外に出て、練習を開始していました。砂埃が舞うくらい、子どもたちの気迫と熱気で盛り上がっています。どうしたら、3分間で跳ぶ回数を増やせるのか、高学年の跳ぶ様子を観察して自分たちの跳び方を工夫する下学年の姿もありました。楽しみながら、目標に向かって取り組む姿は素晴らしいです。



お昼休みの光景です！

4年生 認知症サポーター養成講座

28日(水)2,3校時は、4年生を対象にサポーター養成講座がありました。講師の先生に比企病院の杉本先生をお招きし、「ささえりあ」の方々に進行していただきました。講師の杉本先生は「認知症とはどういう病気か。認知症になっても人としての心は生きているということ。だから、どのように接する方が良いのか・・・。」等をわかりやすくお話していただきました。

また、若葉校区の民生委員の方々も参加いただき、一緒にワークショップにも取り組みました。食事をしたのに「お腹がすいた。ご飯はあるか。」と問う認知症のおばあちゃんとのように対話をしていくかという課題にみんな真剣に考えを出し合っていました。各グループに民生委員の方々も入っていただき、意見交流もしました。

何が正解かはケースバイケースですが、講師の杉本先生の言葉にもあったように、誰に対しても「相手の心」を大切にしたい言動ができる人になってほしいと私も思いました。

“あいさつビンゴ”であいさつの輪が広がっています！

生活委員会の取り組みで、「あいさつビンゴ」が行われています。特に低学年は、生活委員会製作のビンゴ表を完成させるために一生懸命に挨拶を頑張っています。朝から校長室のドアをノックして「校長先生、おはようございます」と元気にしてくれる子どもたちもいます。

生活委員会の子どものアイデアで学校がとても爽やかな挨拶で溢れています。挨拶はコミュニケーションのスタートです。そんな経験が「あいさつって気持ちいいな」という実感となっていくといいなと思いつつ見守っています。



生活委員会製作あいさつビンゴ表